

# 緑化委員会広報

## 緑化整備始めて10年目へ

委員長 林 勘治

いつも緑化推進活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

緑化委員会が発足して今年で10年目に入ります。

緑豊かな美しい住環境を自分たちの手でつくりたいと、この間、生垣の刈り込みや樹木のせん定、四季ごとの花苗の植栽など委員の皆さんと作業を続けてきました。

毎年補植してきた樹木や生垣も大きく成長しましたが、タウンハウスの一部で枯れ死した生垣が見受けられます。

写真参照Ⅱ。生垣にはレッドロビン、カナメモチなどが使われていますが、ウィルス性

(「こま色斑点病」の病原菌に侵されると、「特効薬もなく完全退治は困難」(造園業者の話)という事です。

枯れた樹木は撤去し、代わりにサザンカ(白色の花)を植栽(混植)するなど昨年から植栽予算内で実施してきました。しかし、今年に入ってから6号、10号棟の生垣が大量に枯れてきたため、理事会と相談し平成16年度予算案に植え替え費用を計上する予定です。

これからも緑いっぱい、花いっぱい、美しい環境づくりを会員一同、力いっぱい頑張りたいと思います。



管理事務所前の樹木せん定作業

## 11回の定例作業を実施

会計書記 田上 順次

平成15年度は3月まで11回の定例作業を実施しました。作業日程表参照Ⅱ。

毎月の定例作業日には平均して十六、七人が参加していますが、皆さん、慣れたもの

員になってください。歓迎します。

## 会員18人で産声

### 緑化委10年の歩み

緑化委員会は95年5月の管理組合総会で専門委員会として正式に承認され発足しました。

参加会員は18人。現在の副委員長・高村太木さんが初代委員長に就任、「花や緑の美しい団地を目指したい」と決意宣言し、作業課題として下記の4項目を掲げました。

- ◆ 当面の作業課題
  - ① 高木のせん定が入居以来、実施されていない。
  - ② 敷地内は樹木主体で四季の草花が乏しい。
  - ③ 生垣の高さが不ぞろいで伸び過ぎ。
  - ④ 集会所の倉庫が手狭。鉢等の保管場所が子供会と共有で危険。

発足後、樹木せん定の基本動作を習得するため、造園業者の専門家を招いて講習会を開く一方、多摩市の花壇講習会に参加、造園技術のノウハウ習得に努めています。

◆ 役員会を新設  
委員会の会員は99年6月に28人に増え、委員長が高村さんから現委員長の林勘治さんに交代。01年5月の管理組合総会で緑化専門委員会細則が改正され、役員会が新設されました。会員は今年4月1日現在で26人、このうち10人の

方が発足当初から参加されています。

◆ 気楽に実行  
発足当時の活動状況について、初代委員長の高村さんはこう述懐しています。  
「当時は理事会の理事が細々と樹木の整備をしていました。しかし、これでは理事の負担が大き過ぎて、継続的な緑化作業ができないという意見が出て、専門委員会の設置が決まりました。賛同する仲間も多く、楽しみながらやってきました」

### ■平成15年度作業実施日■

- 6月 1日 (日) 委員会・作業
- 7月 6日 (日) せん定作業 (燻製会)
- 7月13日 (日) 花苗掘り取り (和田苗園) 植栽
- 7月20日 (日) 団地夏祭り支援
- 8月 3日 (日) せん定作業
- 9月 7日 (日) せん定作業
- 10月 5日 (日) せん定作業 (燻製芋煮会)
- 11月 9日 (日) 市民清掃支援 せん定作業
- 12月 7日 (日) 委員会 花苗掘り取り (和田苗園) 植栽 (円実氏送別会)
- 12月28日 (日) 有志餅つき会
- 1月11日 (日) せん定作業 (新年会)
- 1月24日 (土) 理事会新年会
- 2月 1日 (日) 委員会・作業
- 3月 7日 (日) せん定作業 (福田氏送別会)



美しく生えそろうた生垣



緑葉が落ち枯れ死の生垣

# 春駆け足 ユキヤナギが満開



春を告げるバス通り側のユキヤナギが満開になりました。メタセコイアの並木道と調和して今年も美しい景観を醸し出しています。2月の作業で補植したユキヤナギも根付き、きれいな花を咲かせました。

## さまざまなイベント開催

### 緑化委員会は毎月第一日曜日

緑化委員会は毎月第一日曜日に定例作業をしています。樹木のせん定や補植、草花の植え替えなどの作業の後、会費持ち寄りや煙製会や芋煮会などと銘打って随時イベントを開催、会員同士の親睦を深めています。

委員会の参加は自由です。イベントだけの参加も大歓迎です。お越しください。

### 好評の煙製会

作業後の煙製パーティーが大好評です。現在は2カ月に1回、ほぼ定期的に開催され、煙製の珍味を味わっています。

煙製の材料はチーズ、タコ、イカ、はんぺん、ソーセージなどを使いますが、何でも焼製になるので驚きました。

### 緑化委員会は達人ぞろい

発案者兼主任料理人は煙製づくりに詳しい中沖委員と林委員長。

煙製用の特殊木箱は高村副委員長が手作りで「商品開発」しました。いずれも玄人はだしの達人です。

### 総料理長が指揮

団地夏祭りや定番メニューになった「鶴牧カレーライス」は緑化委員会が毎年、理事会から委託を受け担当してきました。

前日の仕込みから当日の煮込みまで、会員総出の作業になります。仕上げは「三ツ星シェフ」に指名された総料理長が腕を振るって味付けをします。

毎回、約三百食を用意していますが、地域限定メニューとあつて年々、人気もうなぎ

上りです。今年も大いに期待できそうです。

### 団地内に杵の音

年末には恒例になった会員有志による会費制の餅つき会が開かれます。昨年はおもち米30キロをつき上げました。作業は前日の下準備に続いて早朝から始まり、杵の音が団地内に響き渡りました。

子供たちも多数参加し、なれない手つきでもちを丸めるなど大騒ぎでした。

作業後、忘年会を兼ねた懇親会が開かれ、1年を回顧しながら楽しいひと時を過ごしました。

### ◇会員往来

大泉眞也（復帰・転勤）11月）◇円実稔（退会・転勤）12月）◇古関正彦（入会）2月）◇福田宏（退会・転出）3月）敬称略

緑化委員会は発足当初から多摩市が昭和55年に始めた「花いっぱい推進事業」に参加、道路側の「みどりの協定斜面地」や管理事務所前の花壇などにアジサイ、アベリア、シヤクナグ等の苗木や四季の草花を植栽してきました。

## 草花育てる多摩苗圃

草花の苗は多摩市が社団法人「多摩市シルバー人材センター」に栽培を委託、毎年春と秋の二回、パンジー、ビオラ、サルビア、マリーゴールド、インパチェンス等を栽培し無料で配布しています。

### 人材センターが委託栽培

「多摩市シルバー人材センター」に委託された花苗業者から送られてきた同センターのポットなどに植えました。花苗を栽培する苗圃は多摩市和田地区にあり、多摩市が委託した花苗業者から送られて

てくる小さな苗三万本を毎年、同センターの人たちが丹精込めて大きく育てています。事業開始当初から作業を続けてきた同センターの責任者は「一生懸命育てた花苗が、住民の方に喜ばれることが何よりもうれしい。掘り起こして車で運んで行く姿を見る度に、きれいに咲かせようという皆さんの気持ちに私たちに伝わってきます」と話してくれました。



手分けして樹木への施肥作業

## 緑化委員会会員

平成16年4月1日現在

- 林 勘 治 (委員長)
- 高 村 太 木 (副委員長)
- 田 上 順 次 (会計書記)
- 佐 藤 晴 治 (役員)
- 加 藤 晴 源 (同)
- 岡 部 吉 伸 (同)
- 末 木 雅 貴 (同)
- 富 田 信 吉 (同)
- 田 中 元 彦 (委員)
- 奥 富 清 (同)
- 近 藤 英 世 (同)
- 会 田 修 (同)
- 永 田 都 志 雄 (同)
- 柏 木 清 志 (同)
- 桐 原 保 (同)
- 脇 原 文 雄 (同)
- 長 谷 川 誠 (同)
- 宮 村 安 英 (同)
- 宮 坂 秀 一 (同)
- 阿 部 明 彦 (同)
- 大 久 保 隆 行 (同)
- 古 関 正 彦 (同)
- 上 島 晃 (同)
- 中 島 淳 (同)
- 香 村 義 隆 (同)
- 大 泉 眞 也 (同)
- 永 山 勝 比 古 (同)

### ■お知らせ

緑化委員会の活動状況をお知らせする「緑化委員会広報・04春季号」をお届けします。今後は年4回をメドに季刊で発行する予定です。組合員皆さんからの緑化にまつわる話題、情報、ご意見など投稿を歓迎します。(編集担当 富田)